

情報管理に関する基本方針

互応化学工業株式会社は、企業の社会的責任を果たすために、情報資産に係るリスク管理を経営上の重要な課題と位置づけ、以下の方針に従い諸施策に取り組んでまいります。

〈情報資産の定義・保護・有効活用〉

当社が保有する経営情報、顧客・営業情報、個人情報および技術情報など、すべての情報資産について、情報セキュリティに関する法令、その他の社会的規範および社内規程などを遵守し、適切にそれを保護するとともに業務を効率的に遂行するために、定められた権限内において、かつ所期の目的のためにのみ使用します。

〈ツールおよびセキュリティ基盤の整備・維持〉

当社が情報資産を有効に活用できるよう、合理的な範囲でコミュニケーションツールおよびセキュリティ基盤を整備・維持します。

〈組織体制・組織的活動〉

「コンプライアンス委員会」および「システム委員会」を設け、グループ全体で情報資産が適切に統制される管理体制を構築・維持・推進していきます。

〈完全性・機密性・可用性〉

当社が保有する情報資産の漏えい、改ざん、盗難、破壊等を防止するためにリスクの特定・評価および対策と改善を継続的に実施し、人的、物理的、組織的およびITによる諸施策を通じて適切に情報管理のリスク低減を図っていきます。

〈教育〉

当社は社内教育を定期的かつ継続的に実施し、意識の向上と社内規程などの周知徹底を図ります。

〈インシデント対応〉

当社は、情報セキュリティに関する事故等が発生した場合は、その被害を最小限にとどめるよう努めるとともに、再発防止策を実施していきます。

〈監査・継続的改善〉

当社は、情報資産の管理の一環として、定期的に監査を実施し、継続的に改善を進めていきます。

〈情報管理体制〉

取締役がそれぞれ委員長を務めるコンプライアンス委員会およびシステム委員会を組織し、法令面とシステムセキュリティの面で連携を取り、情報セキュリティやサイバーセキュリティに関する取組み方針、各種施策を決定しています。各委員会の主導のもと、組織的な連携を行える体制やルールを整備することで、情報管理体制の強化に努めています。また内部監査の一環として、情報管理に係るルールの遵守状況等を定期的に監査し、関係部署等へ指摘、提言、助言を行い情報管理体制の向上を図っています。